

(20111124)

福島原発事故による長期影響を受けた地域の生活回復のためのダイアログセミナー
チェルノブイル事故の教訓と ICRP 勧告

2011年11月26-27日

福島県庁本庁舎2階「第1特別委員会室」

(当日は閉庁日のため、県庁本庁舎西側から守衛室前を通過して入室)

<http://www.cms.pref.fukushima.jp/>

発起人

国際放射線防護委員会 (ICRP)

協力と援助

福島県、福島医科大学、放射線安全フォーラム

フランス放射線防護・核安全研究所、ノルウェー放射線防護局

フランス原子力安全局、経済協力開発機構・放射線防護公衆衛生委員会

宿泊

福島リッチモンドホテル (<http://www.richmondhotel.jp/>)

〒960-8053 福島県福島市三河南町1-15(福島駅西口)

TEL 024-526-1255 FAX 024-526-1266

同時通訳

ディプロマット社 (平野加奈江、町田公代)

目的

国際放射線防護委員会は、長期汚染地域居住地域住民の防護に関する勧告において、汚染地域の住民と専門家が状況の対応に直接関与することが効果的であること、および国や地域の行政は地域住民が自ら決定する状況を作ること責任があることを、強調している。

この観点に基づき、本会合では、福島県と県の各地の専門家および外部からの種々の代表・専門家のあいだでの対話により、福島原発事故により汚染した地域における将来を見据えた生活改善に挑戦するための方策を見つけることを目的とする。外部からの代表・専門家には、日本国内の地域社会で生活する人々や国や研究機関の専門家、さらにはチェルノブイル事故の長期影響の処理の経験をもつベラルーシやノルウェーの専門家を含む。

そして福島が農業に依拠した県であるとの認識に基づけば、安全な生活状況と農地の回復を確保して、被害をうけたコミュニティーの再建と外部のコミュニティーとの連帯を確立する、という2つの視点がとりわけ重要である。

本セミナーは、自由な対話と活発な討論を確保するために、30名程度の人数にかぎる。対話のまとめと提言は、福島県と日本政府にお送りする。

プログラム

第1日目（11月26日）

14:00-15:00 開会

- Jacques Lochard 氏と田中俊一氏による歓迎の挨拶
- 国内参加者による自己紹介（名前、専門、経験）
- 外国参加者による自己紹介（名前、専門、チェルノブイル関連の経験）

15:00 – 18:00 セッション1：福島状況の発表

- 福島の汚染地域の全体図の紹介（10分）
福島県の責任者としての立場：荒竹宏之
- 福島における除染活動（30分）
伊達市の除染活動：半澤隆宏
福島生協の取り組み：野中俊一
農地の回復にむけて：大倉利明
- 医療現場の挑戦（10分）
福島医大の取り組み：宮崎真
- 教育の現場で（10分）
富成小学校でのモデル除染とプール開きまでの保護者への対応：勝見五月
- 消費者の関心事と行動（10分）
食品会社の視点：鈴木賢治
- 新聞テレビ関係者から見た一般人の関心事（30分）
福島民報の視点：早川正也
福島民友の視点：菊池克彦
NHK の視点：藪内潤也
- 地域レベルでの挑戦（20分）
飯舘村では：菅野典雄（only 15:30-18:00）
川内村では：遠藤雄幸

17:00 – 18:00 まで討論

- 参加者全員による対話（60分）

19:00-21:00 会食

2日目（11月27日）

09:00-10:40 セッション2：チェルノブイルの教訓

- チェルノブイルの教訓についてのベラルーシとノルウェーからの発表
放射線モニターの問題（30分）
サーメの人々の線量：ラブランス・スクレロード
線量測定への住民参加：テリー・シュナイダー
健康調査（30分）
サーメの人々の健康調査：アストリッド・リーランド
ベラルーシでの健康調査：フランソア・ロリンジャー

食品管理と農作における方法（20分）
ベラルーシでの取組み：ヨセフ・ボグデビッチ
防護についての自助活動と放射線防護文化（20分）
ベラルーシでの取組み：ゾイア・トラフムチク

10:40 -11:00: コーヒーブレイク

11:00-12:00 セッション2(続)

- 全員による討論

12:00-13:00 セッション3：原発事故に関わる放射線防護原則

ICRP 出版物 111 にある防護原則の紹介：クリス・クレメント)

ICRP の防護の考え方に対する日本側関係者のコメント

政策の問題点について：甲斐倫明

地域の視点：多田順一郎

13:00-14:00 昼食

14:00-15:30 セッション3：前進のための円卓討議：自助努力への挑戦とそれを可能にする方法の模索（全員）

- 本セミナー支援組織の立ち居地
- 地域の利害関係者の立ち居地
- 外部地域の利害関係者の立ち居地

15:30-16:00: まとめと提言

関係者による論点のまとめと提言のアウトライン

予定参加者（略）